

吟道月報

NO.25

49.8.5

碩心会

で御座いました。そして、新倉きよさんに、初代支部長になつて頂いて色々御世話になり、亡き根

下山口支部の歩み

支部長 木林谷俊山

副支部長 沼田義山

碩心会の皆杯、此の度吟道月報を通じ、紙上の一端を拜借致しまして、私共下山口支部の吟道歴を不させて頂きます。今日迄になりましたのも、ひとえに諸先生、先輩吟友の方々のおかげと深く感謝致してあります。

当放場は、誕生して目前浅く、昭和四十五年九月に発足致しました。今は故人と相成られました榎岸清生先生の家族的な御指導により、葉山町下山口一、九三六番地新倉きよさんのお宅に支部及び放場を置かせて頂き、創立したものの、その当時は会員も僅か七、八名

半先生の御指導のもとで、さ、やかながり下山口支部と言ふ名の産声を上げさせて頂きました。

其の時、一声土気高らかに九月十日を吟じました。それも今は夢のように思われ今日になりました。それから次々と会員も多くなり、只今では男子十一名、女子十一名の会員になり、毎又旺日を吟詠日として、加藤秀生先生、沼田光風先生の御指導によりまして全員休まず勉強に張り切つてあります。

かへり見ますれば、これも先輩であり、ひと時を御一請に勉強させて頂いたのだいた一色放場の皆杯方の深い深い御心持があつてのことと感謝致して居る次第で御座います。

今は会員も大勢になり、当放場の現所在は御用印前神明社下山会館でございしますので、吟友の皆杯、交通の便

は宜しいので、是非共、当放場を御尋ね下さいませ、
会員一同、心から御迎を申し上げ、頑心会の発展と
共に吟友の和を一層深めたいと存じます。

当支部の吟詠は一節と二節にわかれ、加藤、沼田両
先生の御指導を受けて居ります。

全員、家族的な和を以つて勉強致して居りますので
何卒御気軽に、お尋ね下さいませ。

両先生のお力添えを心から感謝申し上げます、会員皆林
の吟道精進を祈念しつつ、この記事を終らせていただ
きます。

以上

富士見支部の歩み

支部長 井澤 正山

暑さ厳しい折、皆林方吟道に御精進のことと拝察い
たします。

日尚浅い富士見支部ですが、そもそもの経緯を報
告いたします。

当初は一色支部の立松さんの御骨折により、根岸清風
先生を紹介していただき、昭和四十四年十月より私宅へ
お招きし、私共夫婦（井沢正起、美代子）のみにこの御
指導を受けていました。

たまたま金城宏美さんが、昭和四十三春頃より一色
支部にて、一色の皆さんと、吟道に精進していましたが
女性陣の多い中での箱石は相当に苦痛らしく、出席も儘
ならなかつた状態です。住居も近くでしたので、当方へ
移り共に家族的雰囲気のもとに御教授願うことになりま
した。約一年の間三名だけの個人的指導を受け、由かり
なりにも詩を吟じ得ることが出来るようになりました。

その後、昭和四十五年十月に須藤敏枝さんと御誘いし
共に吟道に精進してきました。

そのうち、昭和四十五年暮、根岸清風先生が御病氣に
なられ、御他界されましたため、一時中断の止むなきに
至り、空白の期間がありました。加藤秀兵先生とお迎
えし、昭和四十七年の春頃まで御教授いただきました。

加藤先生の御令室が御病氣のため稍白に支障を来たすとの由で沼田沈風先生を紹介され、現在に至っております。

この間、昭和四十七年十月には木沢恒雄さんが入会、更に昭和四十八年十月に田村さんが入会、現在大名の大名の小人数の支部として形成されています。

当支部は小規模な陣容のため、昔の寺小屋を彷彿させるような雰囲気でも個人的指導も充分に満足出来るマンツーマン的な御指導を受けています。一人当りの詩を吟する回数度も多く、欠失の是正も徹底出来ます。為か、全員進歩の度が速いように思われます。全員勤め人ですか。積古日（毎週水曜日）には、萬障繰りあわせて出席し、先生方の懇切丁寧な御指導に報いるため、最善の努力をされている次第です。

今後は更に吟道に精進し、頑心会の発展に方分の一でも寄与したいと思っております。

県本部関係

県本部の二十周年記念吟道大会は、九月八日横須賀市文化会館大ホールで行われます。

頑心会からは、下山口、一色、吟帯を合せて二十七名の一組と、逗子、桜山、沼間を合せての女子二十一名の計二組の合吟と独吟では、沼田沈風、三井要宏の二人、役員吟詠に根岸、松井西先生が出吟されます。

立体吟には、書華道吟に松井先生の書と、堀内支部石渡期山さんの花が繚込まれています。詩舞「舟艇舟の尺八」には、小林繁寿先生とその竹下七人の舞に、相澤晃岳、加藤春岳、三井要宏先生の三人が吟じます。多数の参加声援をお願いします。

頑心会本部関係

◎ 秋季昇任審査会は九月二日（日）十時から図書館本ホールで行われます。

初段23名、二段20名、初依47名、の計90名は別室で十時から、

三段21名、四段19名、中依16名、五段28名、大段9名、奥依12名の計105名は、ホールで十時から始まります。時間におくれないように余ゆうを以つて募集して下さい。

課題吟左の通り、

初二段 海南行 九月十日、大田道灌、富士山の内

自由選択

初依 大瀬公(巻) 神州(巻)

三段 静夜思(3) 時に總う(1)

四段 暮夜洛城に笛を阿く(3) 塚下の歌(3)

中依 桜桐に遊ぶ(4) 別詩(4)

五段 和歌あさみどり(2) 敷島の(2)

六段 吟徳(5)

奥依 短歌 審査内容係未通り

◎ 九月二十九日(日)に開催される碩心会の温習会は、年一度全員が集まれる唯一の機会であります。万難を排して全員参加、一日を会員の吟で楽しみ、親睦の場としたいものであります。

出吟内容もいろいろ案画して長誦、連吟、台吟、立体吟等を交えて、今後の温習会のあり方を検討していただきたいと思います。

プロは九月月上旬にはお届け出来ると思います。

◎ 七月三十一日(日)横濱芸文協会の台吟コンクールに参加した桜山支那は惜しくも遂に漏れましたが、全力練習の甲斐あって、美事な台吟で、よくぞろいました。各人の吟の向上には、普通の練習では得られない成果があがったものと思います。

会員の異動等

◎ 新入会員

塚田支那	三留忠治	葉山町堀内二七四	電 〇二六七
〃	矢島修雄	葉山町堀内九八二	電 〇三三七
建設支那	広木忠厚	逗子市逗子七の六の十九	電 〇三〇五八
長柄支那	菊地和子	葉山町長柄四八三	電 〇四七四
〃	碓井祐司	葉山町長柄一、二八九	電 三〇五七

◎ 退会会員

130	諏訪 梅子
191	中村登志子

◎ 住所変更

30 佐藤 博 寒川町小谷五九四の二 電話は同じ

総務だより

◎ 吟集の定価が八月一日から各冊三百円となりました。

◎ 敵本もその内値上りの傾向にあります。全巻揃っていない方は、この際注文して下さい。

現価格 各冊 三〇〇円

◎ 月報に会員の声の欄を設けたかと思えます。質問、所見、意見等、遠慮なく投稿をお願いします。

以上